

青天に恵まれた百年の森に歌声も！

●17年目に入った「浦高百年の森」！

今日は17年目に入った「浦高百年の森」の令和3年度第2回現地活動(除間伐等)でした。9時45分に、寄居町風布の地に参加者全員約50名が集合し、玉熊・百年の森運営委員長(26回)からのご挨拶と作業の説明を受け、10時にそれぞれが作業にとりかかりました。本日の作業は作業道の刈払い、つる切り、除間伐でした。約1時間半、皆さんが汗をかいた分、体験の森や作業道は綺麗になりました。コロナ禍の影響で一昨年の秋から、昨夏は中止、昨秋と今夏は現地集合できる人たちだけの作業と手入れがなかなかできていなかった森ですので、来年に向けて少々手入れをしっかりとしなくてはならないかもしれませんネ。今回は、浦高からバスが出たため、保護者の皆様が20名ほど参加してくださり、キノコ汁を作ってくださったり、体験の森の刈払いを手伝ってくださったりと大変ありがたい助っ人でした。



玉熊委員長【左から4人目】からの挨拶



作業道路の整備/草刈り



だいぶ綺麗になった作業道路



保護者の方々も大鎌で草刈りを



25期の関谷さん(左)と記念樹の前で



25期の樹名板はまだ読めました



昼食後、富田千種さん(19回)からの贈り物コンサート



富田さんを囲んで、春日部地区浦高会5人と11回の皆さん

保護者の皆さんが作ってくださったキノコ汁(材料は野辺博・同窓会会長提供)の昼食を済ませたあとは、一時帰国中のウィーン在住の音楽家・富田千種さん(19回、写真右)から歌のプレゼントがありました。小春日和の清々しい森に「帰れソレントへ」「この道」「千の風に乗って」「オーソレミオ」の4曲が心地よく響き渡りました。富田さんには、春日部地区浦高会では5年にわたってお世話になり、5回にわたり『音楽の都ウィーンからの贈り物』コンサートを成功させていただきました。来年5月29日(日)に6回目のコンサートが行われるとのことで、お手伝いさせていただこうと思っています。今回、春日部地区浦高会からは鳥井隆一郎さん(11回)、石田知己さん(16回、皆勤賞)、伊藤貴成さん(47回)親子が、同期(25回)では、関谷繁樹さんが参加してくれました。13時から、風布のみかん園でのみかん狩りが行われ、美味しいみかんをいただいて帰路につきました。

